

# 沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

## I 研究業務状況

### (1) 二部門以上共通

1. タイ・ラオスの伝統文化研究  
[担当：伝統工芸部門、伝統芸能部門]
2. 沖縄伝統文化研究資料の収集・データベース作成  
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]
3. 鎌倉新資料の調査、整理、記録、教育的活用研究  
[担当：芸術文化学部門、伝統工芸部門、伝統芸能部門]

### (2) 芸術文化学部門

1. 地域文化の調査研究
  - a 『おもろさうし』『琉球国由来記』の研究 [担当：波照間永吉教授]
  - b 沖縄の神歌の調査研究
  - c 波照間島の伝統文化の調査研究 [担当：波照間永吉教授・川平成雄調査員・平良勝保調査員・西岡敏調査員・飯田泰彦調査員・久貝典子調査員・照屋理調査員]
2. 沖縄芸術の美学的研究 [担当：喜屋武盛也講師]
3. 沖縄文化の比較文化論的研究 [担当：波平八郎准教授]
4. 沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座
  - a 「沖縄芝居を語る」 [担当：波照間永吉教授]  
平成19年9月22日～9月29日（午後7時～9時）  
第1回 9月22日 高安六郎（芝居士・沖縄俳優協会会長）  
「沖縄芝居を語る 1」  
第2回 9月29日 高安六郎（芝居士・沖縄俳優協会会長）  
「沖縄芝居を語る 2」
  - b 「沖縄の自然と文化」 [担当：波照間永吉教授]

平成19年10月5日～12月6日（午後7時～9時）

- 第2回 10月6日 波照間永吉（沖縄県立芸術大学附属研究所教授）  
「『おもろさうし』に謡われた自然」
- 第2回 10月12日 波照間永吉（沖縄県立芸術大学附属研究所教授）  
「『琉球国由来記』に描かれた自然」
- 第3回 10月19日 小野まさ子（沖縄県立真和志高校教諭）  
「那覇港鳥瞰図を読み解く」
- 第4回 10月26日 渡久地 健（琉球大学非常勤講師）  
「絵図資料に見る自然と文化 1」
- 第5回 11月2日 渡久地 健（琉球大学非常勤講師）  
「絵図資料に見る自然と文化 2」
- 第6回 11月9日 平田美奈子（沖縄県工芸指導所）  
「紅型文様にみる自然観」
- 第7回 11月16日 粟国恭子（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館学芸員）  
「動物と生活文化——牛・馬と象徴性——」
- 第8回 11月24日 粟国恭子（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館学芸員）  
「空飛ぶものの文化——白鳥・蝶・ふくろうなど——」
- 第9回 12月7日 安里 進（沖縄県立芸術大学音楽学部教授）  
「お墓と厨子の形と紋様から考えてみると」
- 第10回 12月14日 安里 進（沖縄県立芸術大学音楽学部教授）  
「王の墓はニライカナイの王宮」

5. おもろ研究会（平山良明代表）開催[担当：波照間永吉教授]

### (3) 伝統工芸部門

1. 沖縄染織の研究 [担当：柳 悦州教授]
  - a 日本民藝館所蔵沖縄染織品調査（4月、7月、9月、12月）
  - b 沖縄県立図書館所蔵「東恩納寛惇文庫『琉球染織』」資料調査
2. 織物技法研究 [担当：柳 悦州教授]

- a 腰機の復元と紋織りの研究
- b 八重山地域の腰機調査
- 3. 西表の植物染料の調査研究 [担当：柳 悦州教授]
- 4. タイ・ラオス織物文化研究 [担当：柳 悦州教授]
- 5. 鎌倉芳太郎紅型型紙の画像データベース作成と研究 [担当：柳 悦州教授]
- 6. 鎌倉新資料の調査、写真撮影 [担当：小倉 美左教授、島袋 常秀教授、柳悦州教授]
- 6. 文化講座「沖縄の工芸を語る ―私の好きなもの―」全7回 [担当：柳 悦州教授]
  - 第1回 5月23日（水）田中俊雄とコージャー（柳 悦州）
  - 第2回 5月30日（水）金城次郎と私（宮城 篤正）
  - 第3回 6月6日（水）紅型について（長尾 紀寿）
  - 第4回 6月13日（水）鎌倉芳太郎が遺した紅型型紙（平田美奈子）
  - 第5回 6月20日（水）大城志津子先生の作品を中心に（多和田 淑子）
  - 第6回 6月27日（水）土が語る沖縄（丸田 勉）
  - 第7回 7月4日（水）私の好きな作品と壺屋焼（島袋 常秀）

#### (4) 伝統芸能部門

- 1. 沖縄・奄美の民俗音楽の調査研究 [担当：久万田晋教授]
  - a 奄美大島の伝統芸能の調査研究 [9月、11月]
  - b 沖縄本島中部の音楽芸能の調査研究
  - c 鹿児島県三島村硫黄島の伝統芸能の調査研究 [9月]
- 2. 沖縄奄美の民俗音楽・芸能関係資料の収集 [担当：久万田晋教授]
- 3. アジア諸地域の伝統音楽芸能の調査研究
  - a インドネシア・バリ島の音楽芸能の調査研究 [担当：梅田英春准教授]
- 4. 文化講座（無料）「映画にみるアジアの音楽芸能」全7回 [担当：久万田晋教授・梅田英春准教授]

- 第1回 1月18日(金) 講師:久万田晋(附属研究所教授)  
「日本の旅芸人の芸能—映画《はなれ瞽女おりん》《竹山ひとり旅》から—」
- 第2回 1月25日(金) 講師:梅田英春(音楽学部准教授)  
「バリ観光と芸能を考える—映画《バリ島珍道中》他—」
- 第3回 2月1日(金) 講師:久万田晋(附属研究所教授)  
「沖縄の神話的世界と歌声—映画《ウンタマギルー》から—」
- 第4回 2月11日(月) 講師:植村幸生(東京芸術大学准教授)  
「王権と芸能—韓国映画《王の男》を通して—」
- 第5回 2月15日(金) 講師:井上貴子(大東文化大学教授)  
「欧米のサイケデリック映画とインド古典音楽  
—映画《ワンダーウォール》《チャパクア》から—」
- 第6回 2月16日(土) 講師:井上貴子(大東文化大学教授)  
「インド映画に見る踊り子たち  
—映画《シャンカラーパラナム》《ウムラーオ・ジャン》から—」
- 第7回 2月22日(金) 講師:長嶺亮子(附属研究所共同研究員)  
「中国映画が描く革命の時代と芸能—映画《玲玲の電影日記》他—」

## Ⅱ 主要研究業績

### 1) 研究所員主要研究業績

1. 著書・編書
2. 論文
3. 作品発表・公演
4. 研究発表
5. 解説等
6. 講演・放送
7. その他

### 2) 助成研究

1. 平成19年度において研究代表者、研究分担者となっている科学研究費研究
  - a 研究代表者となっているもの
  - b 研究分担者となっているもの
2. 沖縄県立芸術大学芸術振興財団助成研究
3. その他

### (1) 研究所長

波照間永吉（教授・専任）

- 1) 1. 『琉球・沖縄芸能史年表』（第3集）（共編）国立劇場おきなわ 平成19年3月24日
1. 『琉球の歴史と文化—『おもろさうし』の世界—』（編著）角川書店 平成19年11月10日
1. 『沖縄県名護市汀間のウシデーケー女の祭り：ウシデーケーの再興を目指して—』（DVD）名護市教育委員会 平成19年3月31日
2. 「琉球・沖縄芸能史年表総説」『琉球・沖縄芸能史年表』（第3集）（共編）国立劇場おきなわ
2. 「鎌倉芳太郎の沖縄研究」『朝日百科 人間国宝』朝日新聞社 平成19年2月18日
2. 「『おもろさうし』の話—世界一のすすめ—」『本の旅人』角川書店 平成19年11月1日
2. 「汀間の女の祭り—ウシデーケーの再興を目指す人々」『相聞』31・32号 平成18年12月10日・平成19年4月10日
2. 「首里城をめぐる水」『水と世界遺産—景観・環境・暮らしをめぐる—』小学館 平成19年3月31日
2. 「発見された紅型紋様図案帖」『沖縄タイムス』平成19年5月21日

2. 「琉球文学の固有性と主体性」『環』30号 藤原書店 平成19年7月30日
2. 「琉球文学研究にみる柳田國男と折口信夫」『国文学解釈と鑑賞』平成19年12月号 至文堂 12月1日
2. 「柳田國男・折口信夫と琉球文学研究」『沖縄・八重山文化研究会会報』182号 平成19年10月21日
2. 「いま仲宗根政善どう考えるか—仲宗根政善先生とオモロ研究」『沖縄タイムス』平成19年12月5日
4. 「“オヤケアカハチの乱”と歌謡」(奄美・沖縄民間文芸学会公開講座「奄美・沖縄における歴史と伝承」)平成19年3月25日 宜野湾市:沖縄国際大学
4. 「今帰仁のオモロをめぐる」(今帰仁城跡案内ガイド養成講座)平成19年7月31日 今帰仁村:今帰仁村文化財資料室・視聴覚室
4. 「柳田國男・折口信夫と琉球文学研究」(第181回沖縄・八重山文化研究会)平成19年9月17日 那覇市:沖縄県立芸術大学附属研究所図書資料室
4. 「『おもろさうし』に謡われた自然」(沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「沖縄の自然と文化」第1回)平成19年10月5日 那覇市:沖縄県立芸術大学附属研究所小講堂
4. 「『琉球国由来記』に描かれた自然」(沖縄県立芸術大学附属研究所公開講座「沖縄の自然と文化」第2回)平成19年10月12日 那覇市:沖縄県立芸術大学附属研究所小講堂
4. 「南島歌謡の音数律」(アジア民族文化学会2007年秋季大会シンポジウム“アジアの歌の音数律”)平成19年10月27日 東京:共立大学講堂
4. 「沖縄久高島シンポジウム」(成城寺小屋講座「〈島〉との対話シリーズ2」)平成19年10月14日 神奈川県:川崎市市民ホール(百合ヶ丘)
4. 「もう一つの沖縄—宮古・八重山の祭祀司世界」(早稲田大学総合講座「沖縄学の構築」第5回)平成19年10月26日 東京:早稲田大学
4. 「オモロと沖縄の歴史・文化」(全6回)(壺川老人福祉センター文化講座)平成19年10月1日~11月11日 那覇市:壺川老人福祉センター
7. 「書評 浦添為廣『はなしの散歩道』」『八重山毎日新聞』平成19年5月29日

7. 「書評 小玉正任『琉球と沖縄の名称の変遷』」『琉球新報』  
平成19年6月30日
  7. 「北米県人会と紅型幕」『オキナワグラフ』平成19年9月号 新星出版  
平成19年9月1日
  7. 「座談会 ローザ・カーロリ×波照間永吉×大城学」『情報やいま』  
平成19年1月号
  7. 「仲宗根政善先生とオモロ研究」「仲宗根政善生誕100年記念シンポジウ  
ム」コメイテイター 平成19年12月8日 西原町：琉球大学図書館
  7. NHKラジオ「ラジオタ刊」インタビューコーナー  
平成19年12月11日
- 2) 1. a 鎌倉芳太郎資料の画像データベースの構築・公開とその応用的研究
  3. a 鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録

## (2) 芸術文化学部門

波平 八郎 (准教授、兼任)

- 1) 2. 「『椿説弓張月』の琉球イメージ — 戦場・自決・スパイ — 」 「沖縄芸術  
の科学」(沖縄県立芸術大学附属研究所) 第19号 2007年3月
- 2) 1. b. 萌芽研究 19652015 「沖縄の都市空間の文化論的研究」 研究代表者：  
久万田晋 2007年度交付額：120万円
1. b. 基盤研究(B) 19320028 「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・  
公開とその応用的研究」 研究代表者：波照間永吉 2007年度交付額：  
221万円
3. 沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 「芸術表現の現代空間へのアプロー  
チ」 プロジェクトリーダー：河合勇作
3. 沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・  
記録」 プロジェクトリーダー：波照間永吉
3. 沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 「総合教育研究センター (仮) 設  
置の基礎研究」 プロジェクトリーダー：福富秀夫

喜屋武盛也（講師、兼任教員）

- 1) 2. 「琉球政府立博物館における昭和42年（1967）日本古美術展について－その文化的政治的含意－」『沖縄県立芸術大学紀要』第15号、沖縄県立芸術大学、2007年3月
  4. “Die Stellung der Perspektive in Cassirers Philosophie der symbolischen Formen.” : The 17th International Congress of Aesthetics, July 2007, in METU (Ankara, Turkey).
  4. 「もうひとつの環境美学としての森林美学の伝統」第58回美学会全国大会、2007年10月7日、於北海道大学
  6. 「カッシーラーの生涯と学説」、沖縄県立芸術大学美術工芸学部 芸術学専攻教養講座、2007年10月25日、於沖縄県立芸術大学
- 
- 2) 1. b 基盤研究A、19202005、「「生活場所（ビオトープ）」の美学－自然・環境・美的文化」、代表：西村清和
  1. b 萌芽研究、19652015、「沖縄の都市空間の文化論的研究」、代表：久万田晋

(3) 伝統工芸部門

柳 悦州（教授、専任教員）

- 1) 1. 『柳 悦孝のしごと 民藝運動と女子美工芸草創期』（展覧会実行委員・図録の編集執筆）女子美術大学美術館、平成19年11月
3. 経綵帯「再生V」第80回《国展》国立新美術館、平成19年5月
5. 「柳 悦孝作品解説」『柳 悦孝のしごと 民藝運動と女子美工芸草創期』（女子美術大学美術館）、pp. 100-103、平成19年11月
5. 「柳 悦孝年譜」（執筆と編集）『柳 悦孝のしごと 民藝運動と女子美工芸草創期』（女子美術大学美術館）、pp. 84-92、平成19年11月
6. 文化講座「田中俊雄とコージャー」附属研究所文化講座「沖縄の工芸を語る ー私の好きなものー」第1回、平成19年5月23日
6. 講演会「ラオスの織物技術」平成19年12月12日、附属研究所小講堂
7. タイ・ラオス織物調査 平成19年3月3日－13日、ラオス北部とピエン



チャン地域の織物文化調査

7. ギャラリートーク「展示解説」『柳 悦孝のしごと 民藝運動と女子美  
工芸草創期』平成19年11月10日、女子美術大学美術館
- 2) 1. b 「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」  
基盤研究 (B)、研究代表者：波照間永吉
2. 「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」沖縄県立芸術大学教育研究支  
援資金、プロジェクト・リーダー：波照間永吉
2. 「総合教育研究センター（仮）設置の基礎研究」沖縄県立芸術大学教育  
研究支援資金、プロジェクト・リーダー：福富秀夫
3. 「自然と共存できる植物の織物利用への可能性」総合地球環境学研究所  
「亜熱帯島嶼における自然環境と人間社会システムの相互作用」共同研究、  
共同研究代表者：朝岡 康二
3. 「第2次世界大戦前後の民芸運動と女子美術大学のかかわりについて」  
女子美術大学共同研究

島袋 常秀（教授、兼任教員）

3. 「赤絵草文角皿」07やちむん展 読谷村美術館 2月
3. 「赤絵草文皿」沖展 浦添体育館 3月
3. 「赤絵草文皿」国展 国立新美術館 4月
6. 「濱田庄司と壺屋焼きについて」 附属研究所文化講座 7月
3. 「刷毛目チューカー他 数点」 個展 島袋常秀作陶展 ギャラリー杜ぐ  
すく 10月
3. 「赤絵草文皿」沖展移動展 読谷美術館 10月
5. 沖展移動展 作品解説 読谷美術館 10月

小倉 美左（教授、兼任教員）

- 1) 3. パネル「光明の中に」《新匠工芸会》東京都美術館 京都市美術館  
平成19年10月
3. パネル「光雲」 日本テキスタイルカウンシル《テキスタイルの  
未来形》沖縄県立芸大付属図書・芸術資料館

平成19年12月

7. モンゴル・中国 古典文様調査 平成19年 8月

7. ワークショップ「型染」タイ・キングモングッツ大学 平成19年 9月

- 2) 1. a 基礎研究 (C) 一般 18520092 「沖縄古典文様に見る自然観の図像化における時空間比較」 研究代表者

#### (4) 伝統芸能部門

久万田晋 (教授、専任教員)

- 1) 2. 「琉球芸能における諸概念の形成過程－八重山芸能の「第三回郷土舞踊と民謡の会」への出演をめぐって－」『沖縄芸術の科学』(沖縄県立芸術大学附属研究所紀要)第19号 pp.43-71 平成19年 3月31日
4. 「沖縄の神祭りにみる芸能」沖縄祭祀資料データベース完成公開記念シンポジウム「時空をこえて－沖縄祭祀と祈り－」パネルディスカッション「時空をこえて沖縄祭祀の示すもの」にパネリストとして参加・発表 平成19年6月16日 神戸市：神戸女子大学ポートアイランドキャンパス
4. 「復帰以前の沖縄における流行歌の展開」東洋音楽学会東日本支部第33回定例研究会・日本ポピュラー音楽学会2007年特別例会の合同例会シンポジウム「ポピュラー音楽にみるローカリティ」にパネリストとして参加・発表 平成19年7月7日 東京：成城大学
4. 「戦後沖縄におけるエイサーの展開」沖縄市エイサーのまち支援事業エイサーフォーラムにパネリストとして参加・発表 平成19年8月30日 沖縄市：コザミュージックタウン音市場
6. 講義「アジア諸地域におけるポピュラー音楽の受容」平成18年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「アジア各地のポピュラー音楽」第1回 平成19年1月16日 沖縄県立芸術大学附属研究所
6. 講義「日本・沖縄におけるポピュラー音楽の受容と展開」平成18年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座「アジア各地のポピュラー音楽」第7回 平成19年2月27日 沖縄県立芸術大学附属研究所
6. ラジオ放送出演「テーマ：声」FM21 (76.8MHz)「あーとらんだむ」

- (1時間番組生放送) 平成19年6月20日 浦添市:FM21
6. 講義「琉球芸能文化の歴史」沖縄市地域雇用創出推進協議会ガイド養成講座 平成19年7月11日 沖縄市:M.B.A.Training Lab. (コリンザ2F)
6. ラジオ放送出演「テーマ:楽器」FM21 (76.8MHz)「あーとらんだむ」  
(1時間番組生放送) 平成19年7月18日 浦添市:FM21
6. ラジオ放送出演「テーマ:文化の流用」FM21 (76.8MHz)「あーとらんだむ」(1時間番組生放送) 平成19年8月15日 浦添市:FM21
6. ラジオ放送出演「音楽で旅するニッポン」(全5回)RBCi ラジオ「ANAグループプレゼンツ プレミアムラウンジ」 平成19年8月13日-17日午前11時-11時30分 那覇市:琉球放送
6. ラジオ放送出演「私と八月踊り研究」 <夕方フレンド> (25分番組生放送) 平成19年9月26日 奄美市:ディ!ウェイブ
6. 講義「琉球芸能文化の歴史」沖縄市地域雇用創出推進協議会ガイド養成講座 平成19年10月3日 沖縄市:M.B.A.Training Lab. (コリンザ2F)
6. 講義「琉球芸能文化の歴史 エイサーについて」沖縄市地域雇用創出推進協議会ガイド養成講座 平成19年12月26日 沖縄市:M.B.A.Training Lab. (コリンザ2F)
7. 「奄美沖縄民間文芸学会公開講座に寄せて」『琉球新報』  
平成19年3月21日
7. 「民謡」『日本音楽基本用語辞典』音楽之友社 pp.140-143  
平成19年4月20日
7. 「沖縄・奄美の音楽」『日本音楽基本用語辞典』音楽之友社 pp.150-158 平成19年4月20日
7. 「沖縄民謡から島唄へ」徳丸吉彦・高橋悠治・北中正和・渡辺裕編『事典世界音楽の本』岩波書店 pp.433-436 平成19年12月20日
- 2) 1. b「沖縄の都市空間の文化論的研究」平成19-21年度萌芽研究 研究代表者:久万田晋
1. b「鎌倉芳太郎資料の画像データベース構築・公開とその応用的研究」平成19-22年度基盤研究B 研究代表者:波照間永吉(沖縄県立芸術大学教授)

1. b「沖縄における身体の近代化—御冠船踊りの受容をめぐって—」平成17—19年度基盤研究B 研究代表者：板谷徹（沖縄県立芸術大学教授）
3. 「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」平成19年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 研究代表者：波照間永吉（沖縄県立芸術大学教授）
3. 「日本で出会った最初の洋楽たち」平成19年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金 研究代表者：梅田英春（沖縄県立芸術大学准教授）
3. 「日本・中国・沖縄における民間文化交流の研究」平成19年度甲南大学総合研究所共同研究 研究代表者：高阪薫（甲南大学教授）

梅田 英春（准教授、兼任教員）

(1) 主要研究業績

1. なし

2. 「バリ舞踊レゴン・クラトンにみる創られた伝統」『MOUSA』8号, 2007, pp. 87-101.

Cultural Policy on Balinese Performing Arts: The First Decade of LISTIBIYA. Yoshitaka Terada (ed.) *Authenticity and Cultural Identity*. Osaka: National Museum of Ethnology, pp. 43-59, 2007.

Island of Entertainment of Paradise of Recuperation— : Prospect of Performing Arts in Bali Tourism. *Journal of Asian Pacific Tourism and Hospitality*, vol. 2, pp. 17-25, 2007.

3. 「おきなわ花と食のフェスティバル2007」におけるガムラン上演（演奏）（2月4日、那覇市奥武山公園）「観光文化交流—アジア交流の架け橋をめざして Cultural Exchange of Kariyushi」におけるガムラン演奏（企画・演奏）（5月5日、かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ）「ガムラン演奏会」におけるガムラン演奏・ワークショップ（企画・演奏・ワークショップ指導）（10月14日、11月10日 海洋博覧会記念公園海洋文化館）「ガムラン de キャンドルナイト—灯す・叩く・広がる」（演奏）（12月22日、那覇市石嶺公民館）

4. 「現代バリにおける伝統芸能継承の活性化—〈改革〉と〈バリへ戻ろう〉スローガンの中のバリ芸能」（東洋音楽学会 第48回沖縄支部例会、3月21日）

「タイの人形影絵芝居ナン・タルンの調査報告」（東洋音楽学会 第49回沖縄支部例会 4月21日）

5. 「インドネシアのポピュラー音楽の展開」（平成18年度沖縄県立芸術大学附属研究所文化講座 アジア各地のポピュラー音楽、1月23日、沖縄県立芸術大学附属研究所）

- (2) 1a. 19520106 バリ島の音楽・舞踊と文化政策に関する文化人類学的研究（研究代表者：梅田英春）基盤研究(C), 2,210,000円
- 1 b. 17320032 沖縄における身体の近代化——御冠船踊りの受容をめぐって（研究代表者：板谷徹）基盤研究(B), 1,950,000円
- 20224339 文化の世代間継承に関する文化人類学的研究——インドネシアの事例から（研究代表者：鏡味治也）基盤研究(A), 9,750,000円
3. なし
4. なし

比嘉康春（教授 兼任教員）

- 1) 3. 国立劇場おきなわ主催 第30回琉球舞踊公演「新春琉舞名人選」地謡/歌三線 平成19年1月13日
3. 国立劇場おきなわ主催 第20回組踊公演「孝行の巻」地謡/歌三線 平成19年1月27日・28日
3. 人間国宝故島袋光史追悼公演 舞踊・器楽演奏地謡/歌三線 平成19年1月29日 於：国立劇場おきな
5. 浦添市当山自治会文化講座「歌三線の魅力」講師 平成19年3月2日 於：当山コミュニティーセンター
3. 沖縄伝統舞踊保存会主催「県指定舞踊保持者公演」地謡/歌三線 平成19年3月11日 於：国立劇場おきな
5. 沖縄県教育委員会主催 おきなわ県民カレッジ「琉歌の風景を訪ねて」講師 平成19年4月28日
3. 国立劇場おきなわ主催 第16回企画公演「地唄舞と琉球舞踊」琉舞地謡/歌三線 平成19年6月9日

3. 鼓童財団主催「第20回鼓童アースセレブレーション」～海の道～  
琉舞地謡、古典音楽独唱、コラボレーション：歌三線 三線講座  
平成19年8月18日、19日 於：新潟県佐渡市小木町
3. 国立劇場おきなわ主催 第25回組踊公演「義臣物語」地謡/歌三線  
平成19年9月15日
7. 沖縄県文化振興会主催第3回「おきなわ文学賞」琉歌部門審査員  
平成19年10月17日 於：県立公文書館
7. 書評 勝連繁雄著「琉球古典音楽の思想」琉球新報  
平成19年12月9日
3. 第13回佐藤太圭子の会 琉舞地謡/歌三線 平成19年12月23日  
於：国立劇場おきなわ